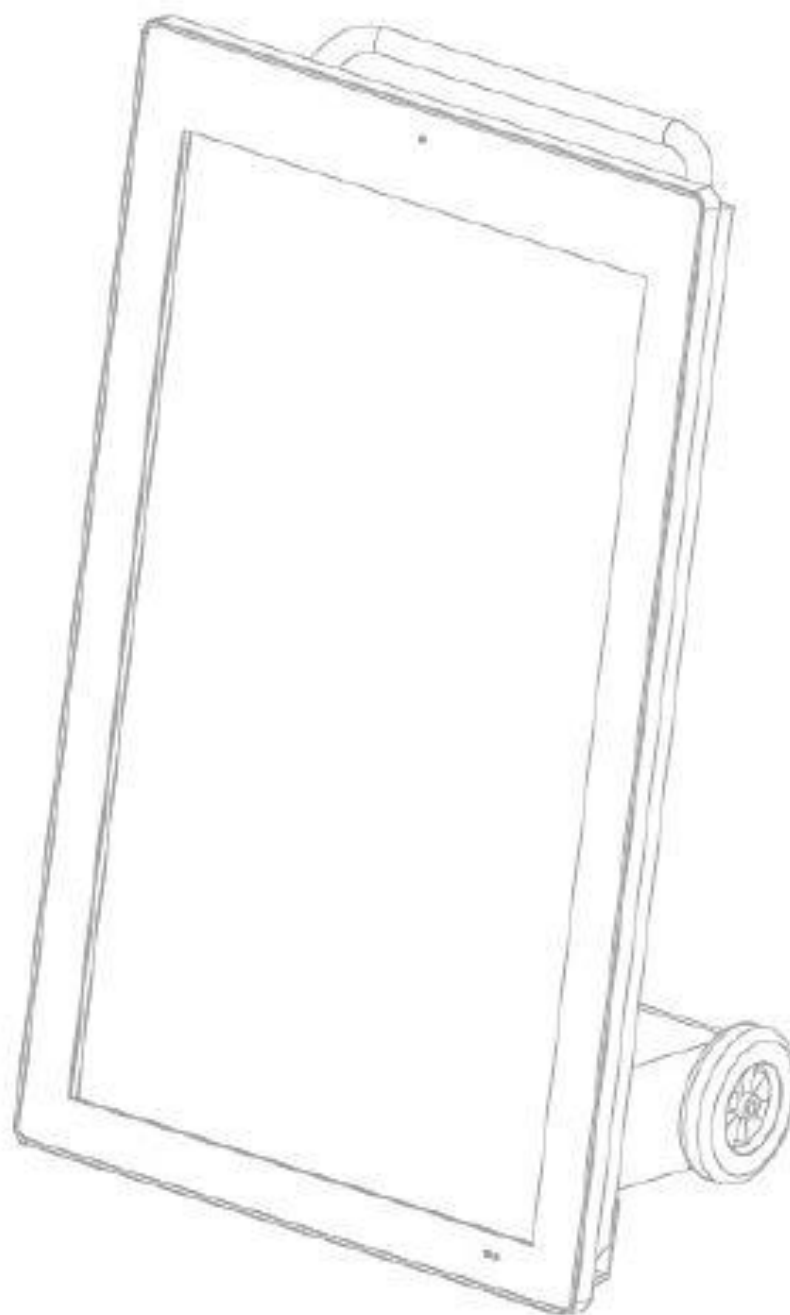


# NSDS43-OP

## 製品マニュアル



## 目次

1. バッテリーインジゲーター .....	2
1.1 バッテリーインジゲーター .....	2
1.2 バッテリーの充電方法 .....	2
1.3 バッテリーの取り扱い .....	2
2. 製品情報 .....	3
2.1 製品の特徴 .....	3
2.3 付属品 .....	4
2.4 製品技術データ .....	5
3. 製品 .....	6
3.1 製品の用語 .....	6
3.2 製品の起動方法 .....	6
4. コンテンツ再生方法 .....	8
5. デジタルサイネージインタラクティブ端末操作方法 .....	9
5.1 デジタルサイネージインタラクティブ端末について .....	9
5.2 スクリーン回転方法 .....	10
5.3 静止面放映時間設定方法 .....	11
5.4 電源自動 ON/OFF 設定方法 .....	12
5.5 デジタルサイネージインタラクティブ端末設定メニュー .....	14
5.6 メディアフォーマット .....	15
6. 製品の保証とメンテナンス .....	16
6.1 保証ポリシー .....	16
6.2 製品のメンテナンス .....	16
7. 安全上の警告と注意事項 .....	16
7.1 製品侵入保護 .....	16
7.2 リチウム電池の免責事項 .....	16
7.3 重要な安全上の指示と警告 .....	16
7.4 一般的なガイドラインと警告 .....	16
7.5 バッテリーパックの充電 .....	17
7.6 発生する可能性のある潜在的な問題 .....	17
7.7 バッテリーの廃棄 .....	17

## 1. バッテリーインジゲーター

### 1.1 バッテリーインジゲーター

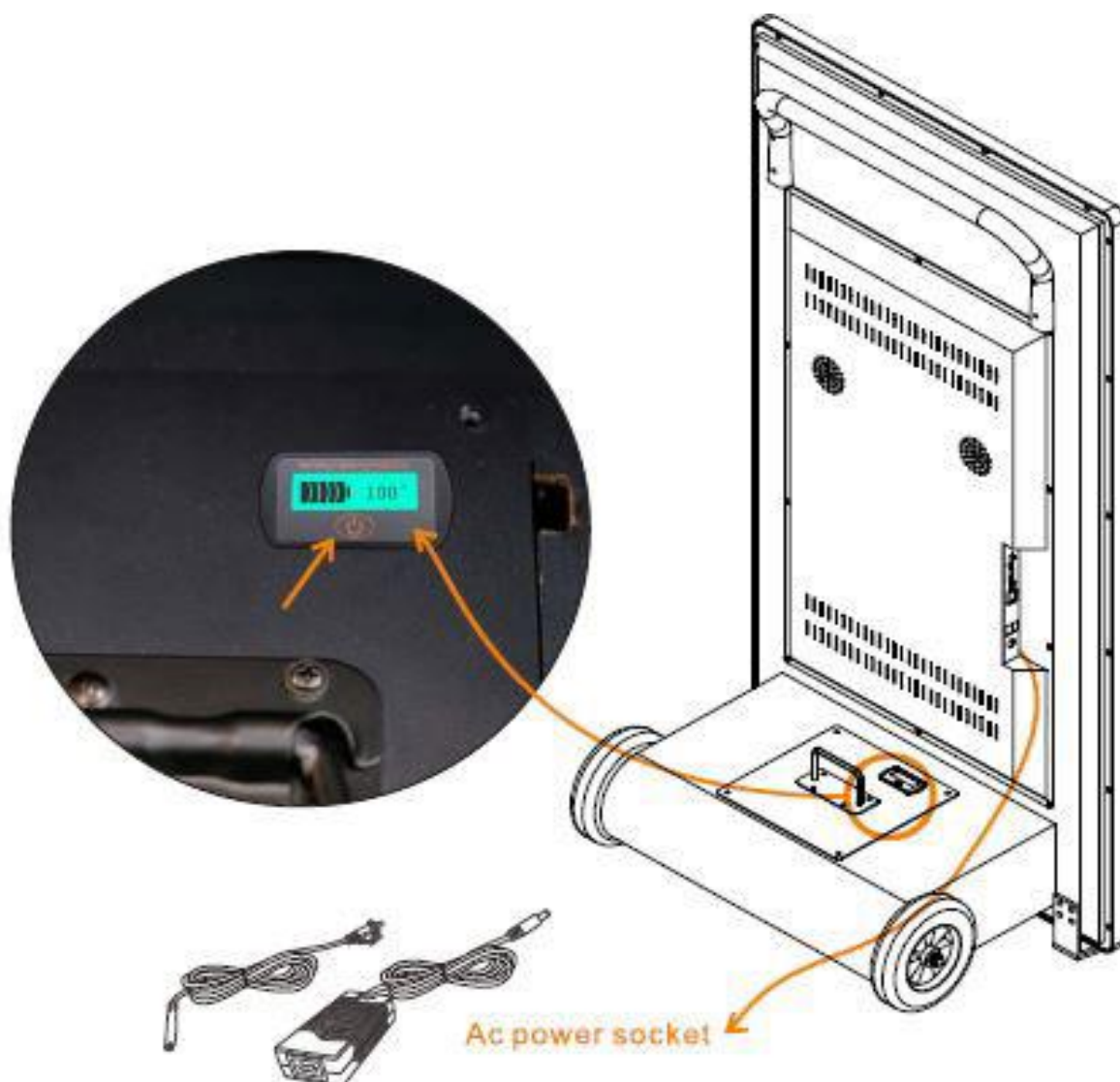
写真に示す部分はバッテリー残量インジゲーターです。バッテリー残量を確認したい場合は、ボタンを押してください。バッテリー残量がパーセンテージで表示されます。

### 1.2 バッテリーの充電方法

充電が必要な場合は、付属の電源アダプターを使用します。本体背面のDC ポートに直接差し込んで充電してください。

### 1.3 バッテリーの取り扱い

製品を長期間保管する必要がある場合、バッテリーの電力は 30% を下回らないようにしてください。保管期間が 1 カ月を超える場合は、バッテリーを長持ちさせるために、毎月バッテリーを充電し、電力を 30% 以上に維持することをお勧めします。



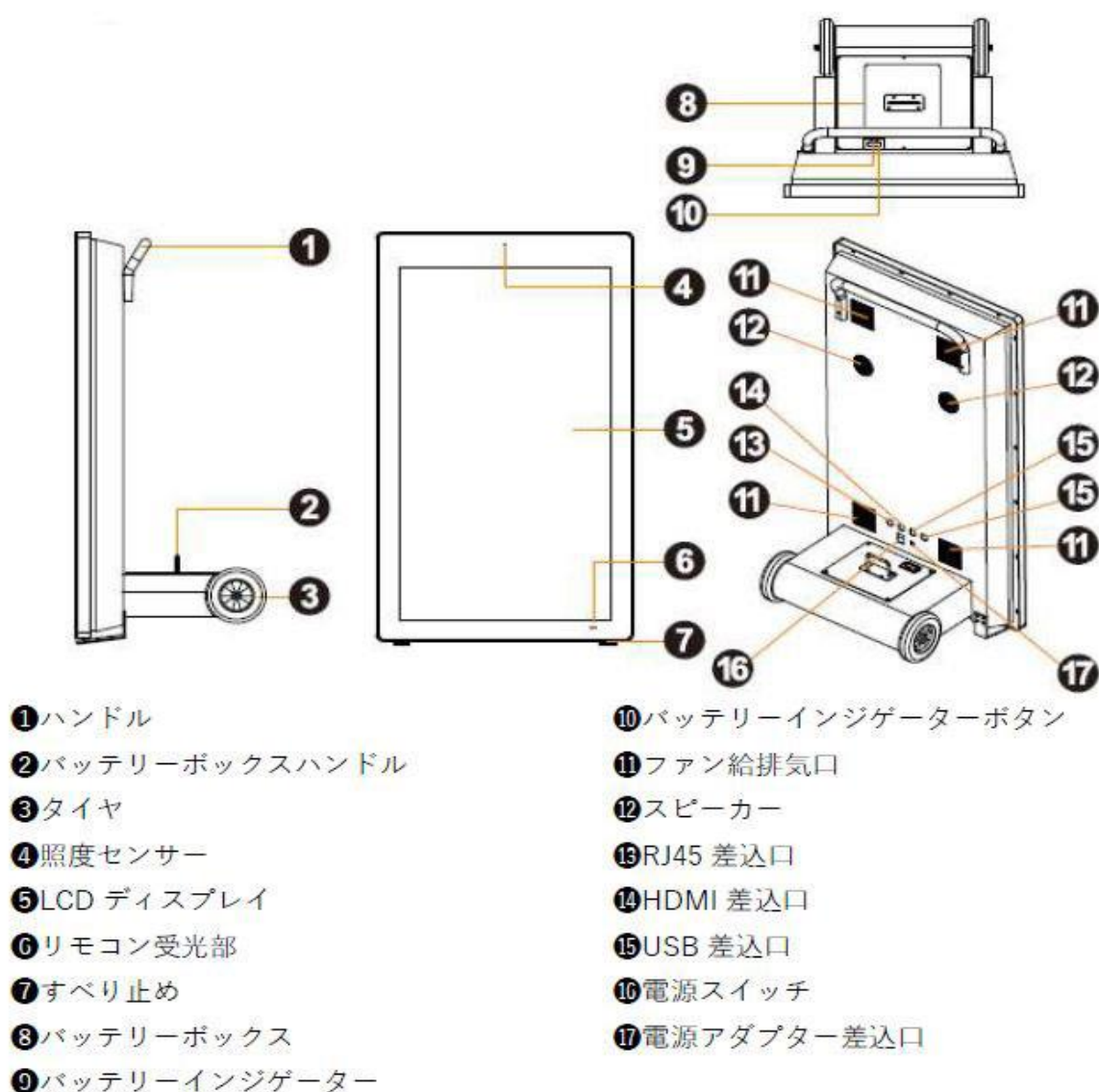
## 2. 製品情報

### 2.1 製品の特徴

バッテリー駆動のホイール43インチ防水LCDは、エレガントなフレームデザイン、43インチの高品質LCD スクリーン、サインウェイコントロールボード、および UL/CE 電源が組み込まれたフロアスタンディングLCD屋外用サイネージ製品であり、好きな場所でどこでも使用できます。

光センサー: 画面の明るさは、周囲の明るさに応じて調整できます（最小 30%、最大 100%、256 インテリジェントな認識と調光のレベル）を使用して、電力を節約し、マシン全体の使用時間を延長します。

### 2.2 製品構成



## 2.3 付属品

付属品表

アクセサリ	図	数量
AC 電源コード		1
電源アダプター		1
リモコン		1
マニュアル		1

## 2.4 製品技術データ

仕様	
OS	Android 11
CPU	4-Core,1.8GHZ
RAM	DDR3 2GB embedded
ストレージ	16GB 内臓
外形寸法	643mm x 1094 mm x 444 mm
重量	43kg
画面サイズ	43inch
表示色	16.7M Colors
画素数	1920 x 1080 16:9ワイド
電源入力	AC:100-240V 50/60Hz
電源出力	DC:25.2V/5A 50/60Hz
最大消費電力	95W
動作温度	0~40度
バッテリー	22.2V/31AH
バッテリー駆動時間	約12時間

### 3. 製品

#### 3.1 製品の用語

製品：フロントエンドディスプレイデバイスのハードウェアとソフトウェア、およびソフトウェアプラットフォームフォームを含む製品全体。

デバイス: GTVフロントエンドデバイス管理に適用されるディスプレイソフトウェア。

Android: Android は、主にデジタルデバイス向けに設計された、Linuxカーネルおよびその他のオープンソースソフトウェアの修正バージョンに基づくオペレーティングシステムです。この製品はAndroidシステムに基づいて開発されました。










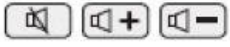



#### 3.2 製品の起動方法

- ・製品を平らな床に置き、AC(100-240V)電源を接続します。電源スイッチをオンにし、LCDがオンになっていて、インジケーター、ディスプレイ表面右下部にあるランプが青点灯になっていることを確認します。マウスまたはリモコンが正常に動作することを確認します。

(効率的に操作する為、マウスの使用をお勧めします )

- ・マウス: デバイスの背面にある USB ポートを使用して有線または無線マウスを接続します。

リモコン

	ボタン	機能
		電源ボタン
		OSD セットアップ機能の呼び出し (GTV ホームページのホームページのみ)
		GTV ホームページと Android ホームページでのみアクティブなファンクション キーは、移動キーとして機能します
		F1-F2-F3-F4 を順番に押して終了します GTV に移動し、Android のホームページに入ります
		戻る
		再生と一時停止
		再生を停止します。このボタンを押すと、直後に GTV のホームページが表示されます
		上下左右移動
		消音/音量アップ/音量ダウン
		数字入力キー
		拡張出力のみ、コンテンツのアップロードには使用できません
		機能なし

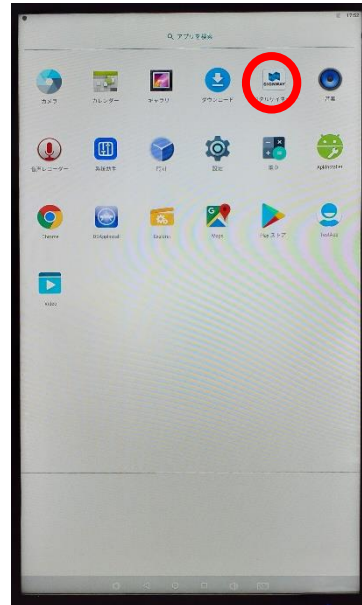
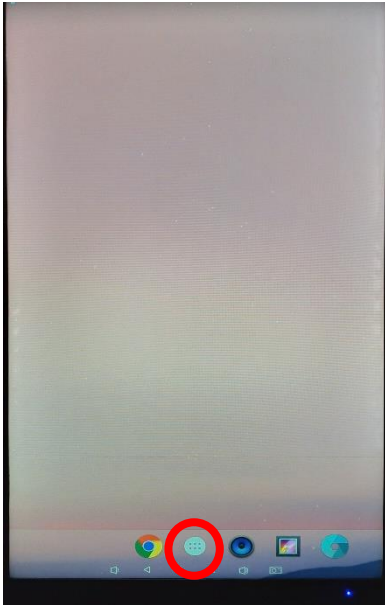


## 4. コンテンツ再生方法

コンテンツ再生方法にはスタンドアロンモードがあります。

・スタンドアロンモード：プログラムをUSB経由でデバイスに手動でアップロードすることを意味します。

(1) マウス又はリモコンで『設定』→『デジタルサイネージインタラクティブ端末』を選択して起動してください



(2) 『デジタルサイネージインタラクティブ端末』起動後、放映したいコンテンツの入ったUSBメモリを本体背面のUSBポートに挿入するとコピーが開始されます。コピー完了後、USBメモリを抜くと自動でコンテンツが再生されます ※1



※1 コンテンツは上書きコピーされる為、既にコンテンツがコピーされている場合、新しいコンテンツが上書き保存され、前のコンテンツは削除されます。

## 5. デジタルサイネージインタラクティブ端末操作方法

	<p>コンテンツ再生中に『&lt;img alt="Previous button icon" data-bbox="548 148 588 168"/&gt;&gt;』を押すと、次のコンテンツに【戻る/進む】することができます。※コマ送り/コマ戻しの操作はできません。</p>
	<p>コンテンツ再生中に『&lt;img alt="Play/Pause button icon" data-bbox="548 203 588 223"/&gt;』を押すと、【再生/一時停止】することができます。</p>
	<p>コンテンツ再生中に『&lt;img alt="Home button icon" data-bbox="548 263 588 283"/&gt;』を押すと、デジタルサイネージインタラクティブ端末ホーム画面に移行します。</p>
	<p>デジタルサイネージインタラクティブ端末ホーム画面で『setup』ボタンを押すと、OSDメニューが開きます。※</p>
	<p>Androidホーム画面に戻る場合、デジタルサイネージインタラクティブ端末ホーム画面で『F1』『F2』『F3』『F4』を順番に押してください。</p>
	<p>『&lt;img alt="Mute button icon" data-bbox="548 443 568 463"/&gt;&lt;img alt="Volume Up button icon" data-bbox="573 443 593 463"/&gt;&lt;img alt="Volume Down button icon" data-bbox="613 443 633 463"/&gt;』のボタンを押すと、【消音/音量アップ/音量ダウン】を操作することができます。</p>
<p>『&lt;img alt="Power button icon" data-bbox="548 503 568 523"/&gt;』ボタンを押すと、本体が10秒後にシャットダウンされます。</p>	

※ OSDメニュー詳細はP.14(デジタルサイネージインタラクティブ端末設定メニュー)をご参照ください。

## 5.1 デジタルサイネージインタラクティブ端末について

【本製品では、下記のようにコンテンツが表示されます】

動画：作成した向きの状態で1080×1920で全画面表示されます。解像度が違う場合でも、1080×1920に合わせて伸縮して表示されます。

静止画：作成した静止画のサイズ・向きで表示されます。全画面表示したい場合は1080×1920で作成してください。

・USBメモリを挿入した場合は、USBメモリのデータ全て本製品に上書きコピーされます。USBメモリデータ内の一部のみコピーすることはできません。

・コンテンツの順番は、USBメモリと同じ順番でコンテンツが流れます。デジタルサイネージインタラクティブ端末での順番の変更はできません。

・本製品搭載されている16GB内蔵メモリは、androidシステム等で少し使用されている為、使用できる領域が16GBより減少しております。

・USBメモリのファイルシステムは【FAT32】又は【NTFS】のみ使用可能になります。

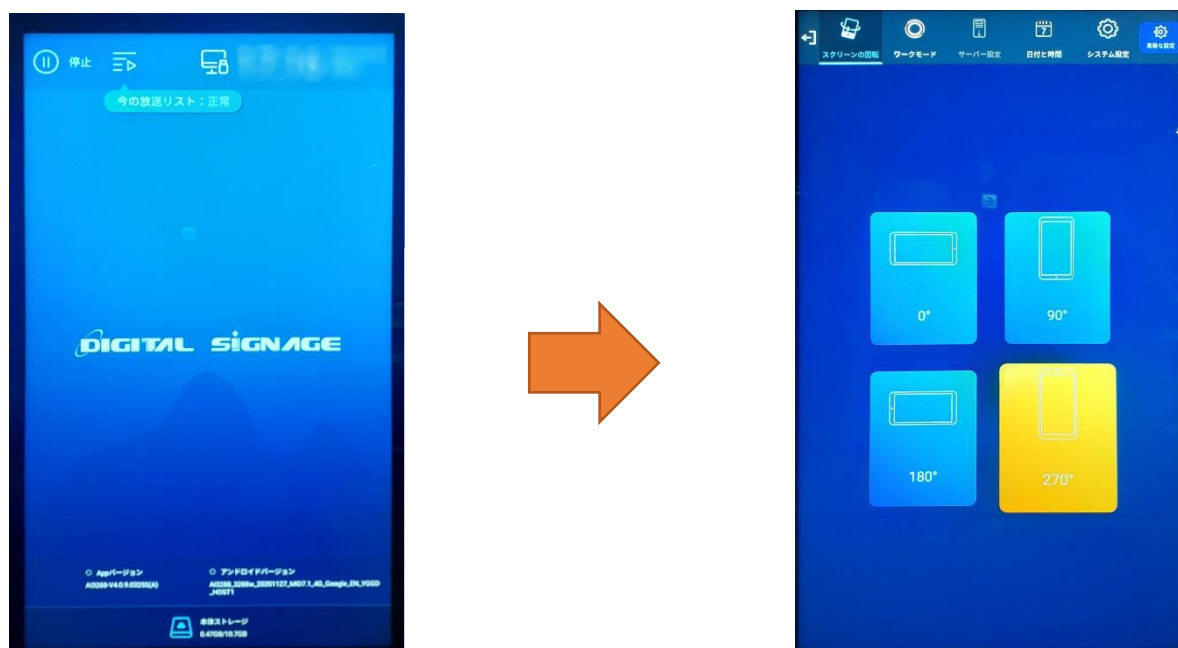
## 5.2 スクリーン回転方法


※設定変更する際は、リモコンのみ操作可能になります。


【スクリーンの回転】：ディスプレイの向きを変更します。

(1) ホーム画面でリモコンの『setup』ボタンを押します。

※コンテンツが放映されている場合は『  』ボタンを押してホーム画面に戻ってください。



(2) リモコン十字キーを使って、使用したい向きにカーソルを合わせて『  』を選択します。

(3) 選択後、リモコンの『  』 → 『setup』ボタンを押してください。設定変更後は、自動で再起動されます

## 5.3 静止画放映時間設定方法

【静止画放映時間設定】：静止画が表示される時間の設定

- (1) ホーム画面でリモコンの『setup』ボタンを押し、リモコン十字キーで『高級な設定』に合わせて『▶||』を押してください
- (2) 『システム設定』の項目の中に『放映時間』があり、『放映時間』にカーソルを合わせて『▶||』を押してください。
- (3) 『5s』 『10s』 『15s』 『30s』 『1min』 から選択することができます。
- (4) 選択後、リモコンの『↶』 → 『setup』 ボタンを押してください。設定変更後は、自動で再起動されます



## 5.4 電源自動 ON/OFF 設定方法

自動ON/OFFモードには統一モードと曜日モードと2つのモードがあります。

統一モード： ON/OFFしたい時間を5パターン設定できます。設定後、毎日設定した時間帯でON/OFFされます。

曜日モード： ON/OFFしたい時間帯を曜日と時間で設定することができます。

(1) デジタルサイネージインタラクティブ端末ホーム画面でリモコンの『setup』を押し、『高級な設定』→『定刻オン/オフ』を選択してください。



#### ・統一モード

(2) 統一モードに合わせて『▶/||』を押すと下記のような画面になりますので、『定刻』を選択し、設定したい番号で『▶/||』を押してください




(3) 時間帯に合わせて『▶/||』を押すと、オフからオンに切り替わり、オン時間とオフ時間を設定することができます。時間設定後、『確定』を押してください




(4) 設定後、リモコンの『▶/||』→『setup』ボタンを押してください。設定変更後は、自動で再起動されます


## ・曜日モード

(1) 曜日モードに合わせて『』を押すと下記のような画面になります。『曜日』毎に時間設定できますので、『曜日』→『定刻』を選択してください



(2) 時間帯に合わせて『』を押すと、オフからオンに切り替わり、オン時間とオフ時間を設定することができます。時間設定後、『確定』を押してください



設定後、リモコンの『』→『setup』ボタンを押してください。設定変更後は、自動で再起動されます

- ・【定刻】：設定した内容で動作します。
- ・【いつもオン】：常に電源ON状態になります。（手動で電源OFFにしても、一定時間経過後自動で電源ONになります）
- ・【いつもオフ】：常に電源OFF状態となります。（手動で電源ONにしても、一定時間経過後自動で電源OFFになります）
- ・【手動】：手動操作になります

## 5.5 デジタルサイネージインタラクティブ端末設定メニュー

設定メニュー					
基礎設定	スクリーン回転	スクリーンを回転します	【0°】【90°】【180°】【270°】から設定		
	ワークモード	シングル	オフラインで運用します		
		有線ネットワーク	本製品では使用できません		
		無線ネットワーク			
		モバイルネットワーク			
	サーバー設定	本製品では使用できません			
	日付と時刻	電源オンしたら時間が同期される	本製品では使用できません		
		時間設定	日付と時刻を設定できます		
		今すぐ時間を同期	本製品では使用できません		
	システム設定	本製品では使用できません			
高度な設定	システム設定	解像度	1920*1080(50Hz)※変更できません		
		時計表示	再生中時計表示ON/OFF設定できます		
		画面表示言語	【中国語】【英語】【日本語】【ポーランド語】から選択できます		
		放映モード	開放		
			暗号化	本製品では使用できません	
			暗号化しない	本製品では使用できません	
		放映時間	静止画の表示時間を設定できます		
		本体番号	本製品識別番号※変更しないでください		
		本体ID	本製品の識別ID※変更しないでください		
		放送日誌	本製品では使用できません		
		USBメモリ	USBメモリON/OFF		
		ロール字幕設定	本製品では使用できません		
		タッチ補助道具	本製品では使用できません		
		オートスタート	電源ON時、自動でアプリが立ち上がり、コンテンツが再生されます		
		同期設定	本製品では使用できません		
		メモリー	内蔵メモリー	内蔵メモリから再生します	
	SDカード		本製品では使用できません		
	USBメモリ		USBメモリから再生します		
	デフォルト設定に戻る	設定の初期化			
	定刻オン/オフ	統一モード	設定した時間で電源ON/OFFできます		
		曜日モード	設定した曜日と時間で電源ON/OFFできます		
	時間分け策略	手動	手動で音量を調整します		
		定刻	設定した時間で音量を調整します		
ネット設定	本製品では使用できません				
ファイルサーバー	本製品では使用できません				
ファイル管理	ファイルシステム、使用状況を確認できます				

## 5.6 メディアフォーマット

Media	File extension	codec		Remark
		Video codec	Audio Codec	
Video	AVI	MPEG4,MPEG2, Xvid,H.264	MP3,WMA, ACC,MP2, PCM	Spec:1920×1080@30fps Bit rate:20Mbps
	MP4	MPEG4,MPEG2, Xvid,H.265		
	MKV/MOV	H.264,MPEG-4		
	MPG	MPEG1,MPEG2		
Audio	MP3	-	MP3	Bit rate:32K-320Kbps Sampling rate:32K-48KHz
	WMA	-	WMA	Bit rate:128K-320Kbps Sampling rate:8K-48KHz
	AAC	-	AAC	Bit rate:128K-Kbps Sampling rate:32K-50KHz
Image	JPEG	-	-	1920×1080
	PNG	-	-	1920×1080
	BMP	-	-	1920×1080



## 6. 製品の保証とメンテナンス

### 6.1 保証ポリシー

- ・製品は、製品の正常かつ合理的な使用を前提として、工場出荷日から1年間の保証を提供します。
- ・部品およびコンポーネントの無許可の交換および配線の変更は、通常の合理的な使用法に違反すると見なされ、保証責任を負いません。

## 7. 安全上の警告と注意事項

製品の設計およびLCDの特性に基づいて、デバイスの取り扱いおよび使用について。

- ・高温および高湿度環境での使用は避けてください: 動作温度 0~40° C;動作湿度10%~80%
- ・適切な稼働時間 : 1日20時間以内
- ・適切な電圧入力: 100~240V、過剰な電圧はデバイスに損傷を与える可能性があります
- ・強い電磁環境から遠ざけてください: 強い電磁波はデバイスに損傷を与える可能性があります。
- ・換気の良い環境で使用してください。
- ・過度の振動、激しい落下、激しい衝撃を避けてください。激しい振動、落下、衝撃は、デバイスに損傷を与える可能性があります
- ・製品の部品を自分で交換または改造しないでください。自己調整に起因するデバイスの製品の問題については、当社は責任を負いません。
- ・定期的な清掃作業を行ってください。定期的な清掃作業は、デバイスの動作に適しています

### 7.1 製品侵入保護

本製品はIP55グレード(侵入保護)です。

5: 塵埃の侵入を完全に防止できないが電子機器の動作には問題がない

5: あらゆる方向からのノズルによる噴流水機器が影響を受けない

- ・製品を屋外で使用する場合は、すべての配線ポ

### 6.2 製品のメンテナンス

- ・表面とフレームの除塵を含む、製品の定期的なクリーニングが必要です
  - ・下記「6. 安全上の警告と注意事項」に記載されている使用上の注意を守ることは、最も基本的な保守作業です。
- 万一故障した場合は、メーカーに連絡し、メーカーの指導の下、有資格者による保守作業を行ってください。

ートが閉じていることを確認してください。

- ・嵐、砂嵐などの悪天候でこの製品を使用しないでください。

### 7.2 リチウム電池の免責事項

顧客の誤った使用に起因する、生命および健康への損害を含む、直接的、間接的、特別、または結果的な損害および人身傷害について責任を負いません。

使用者は、すべての使用に対して完全かつ無制限の責任を負うものとします。この製品の購入は、バッテリーのその後の使用に対して完全かつ完全な責任を負うことに同意したことを意味し、販売元の役員および従業員を、潜在的な使用および誤用に関して防御、保護、無害に保護し、補償することに同意するものとします。

この製品を購入または使用することにより、上記の条件に同意したことになります。

### 7.3 重要な安全上の指示と警告

リチウム電池は揮発性であるため、電池を使用または充電する前に、これらの安全に関する指示と警告をお読みください。守らない場合、火災、けが、物的損害のおそれがあります。

### 7.4 一般的なガイドラインと警告

- ・バッテリーの充電率と放電率は、容量の乗数と

して与えられます。例えば、定格20C の 3300 mAh (ミリアンペア時) のバッテリー、最大連続放電率は：

$$20C \times 3300\text{mAh} \times \frac{1\text{Ah}}{1000\text{mAh}} = 66\text{A}$$

- ・耐火容器に保管して充電します。
- ・両方のリード線を同時に切断したり、導電性物体と接触したり、その他の方法でバッテリーをショートさせたりしないでください。
- ・損傷（クラッシュなどによる）または膨張（バルーニング）が発生した場合。直ちに使用を中止し、安全な場所で 30 分以上観察してください。物理的な損傷や膨張が始まったバッテリーを使用し続けると、火災、けが、破損の原因となります。

- ・新しいパックに割り込むには、最大平均放電率 3 ~ 5Cをお勧めします。また、新しいパックを過放電しないように細心の注意を払ってください（パックは常に過放電してはいけませんが、最初のフライトで過放電するとバッテリーに永久的な損傷を与えます）。

\* バッテリーを車内で保管したり充電したりしないでください。

最適な結果を得るには、バッテリーを4~27度の室温で保管してください※電池パックを直射日光（熱）に長時間さらさないでください。

## 7.5 バッテリーパックの充電

- ・充電する前にバッテリーパックを周囲温度まで冷やしてください。周囲、バッテリー、および充電器の温度が 0~45度の場合にのみ、バッテリーを充電してください。

- ・充電器に接続する前に、パックを目視検査してください。破損したリード、コネクタ、シュリンクの破損、セルの膨張、またはその他の不規則性を目視確認してください。もし問題が見つかった場合は使用しないでください。

※電池パックを直列に充電しないでください。各バッテリーパックを個別に充電してください。バ

ッテリーの認識や充電機能が正しく動作しない原因となります。

- ・特定のバランス充電器のみを使用してください。すべての充電器設定が特定のバッテリーパックに適切に設定されていることを常に確認してください。

- ・常にバランス充電を使用してください。不平衡の状態では充電しないでください。不平衡の状態では充電するとセル電圧が不均衡になり、過充電等で損傷する可能性があります

- ・バッテリーを充電する際は無人の状態では放置せず、満充電後は充電器を外し過充電を行わないようにしてください。

## 7.6 発生する可能性のある潜在的な問題

- ・1 パックあたり25ボルトを超えるバッテリーを充電しないでください。過充電されたバッテリーは非常に危険です。

### 電池パックの放電（使用）

- ・定格を超えてバッテリーを放電しないでください。

- ・バッテリーを容量の80%以上放電しないでください。

- ・バッテリーをセルあたり3ボルト未満まで放電しないでください。

- ・バッテリーと周囲温度が0~60度の場合にのみ放電してください。

- ・一般的なガイドラインとして、電池は手でしっかり持てないほど熱くなることはありません。

## 7.7 バッテリーの廃棄

- ・容量の20%を失ったバッテリーは、サービスから削除する必要があります。

- ・リサイクルする前に、バッテリーを3V/Cellまで放電し、出力線が絶縁されていることを確認してから、バッテリーをバッグに包んでください。

- ・電池をゴミ箱に捨てないでください。廃棄又はリサイクル方法はお住いの自治体のガイドラインに従ってください。